

---

# 令和3年度予算第一特別委員会質問要旨

---

○ 局別審査

令和3年3月8日

質問者（質問順）

- 1 白井正子 委員（共産党）
- 2 横山勇太郎 委員（自民党）
- 3 鈴木太郎 委員（自民党）
- 4 長谷川えつこ 委員（立民フ）
- 5 仁田昌寿 委員（公明党）
- 6 黒川 勝 委員（自民党）
- 7 平田いくよ 委員（神奈ネ）

こども青少年局

# 局 別 審 査

1 白 井 正 子 委 員 ( 共 産 党 )

## 1 保育所等のPCR検査について

- (1) 令和2年4月から令和3年2月末までの感染状況について伺いたい。
- (2) PCR検査の範囲について、現在の対応では不十分と考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 園が独自に実施した検査で陽性者が見つかったことについてどう考えるか伺いたい。
- (4) PCR検査のやり方を今後変えないのかについて伺いたい。
- (5) 保育施設再開等支援事業における、施設の自主的なPCR検査費用負担の考え方及び補助金の申請実績について伺いたい
- (6) 全額補助とし、対象も限定すべきではないと考えるが、見解を伺いたい。
- (7) 保育所等の全ての職員に対し、市独自で定期的なPCR検査を実施すべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (要望) 補助制度を使いやすいものにし、また、潜在的な陽性者を見つけ出す検査の方針に変えていただきたい。

## 2 区と児童相談所における児童虐待対応体制の拡充について

- (1) こども家庭総合支援拠点の整備に伴う、区における児童虐待対応の専任体制の強化について伺いたい。
- (2) 正規職員の増員人数について伺いたい。
- (3) 今年度と比較し来年度新たに増える正規職員人数について伺いたい。
- (4) 各区こども家庭支援課の業務が多忙化する中、前向きに取り組む職員の声についてどう捉えているか伺いたい。
- (5) 各区こども家庭支援課のレイアウトは、拠点の機能に対応した環境となるのかについて伺いたい。
- (6) 体制の拡充に向けた、児童相談所のあり方検討の進め方について伺いたい。

(要望) 区では、児童虐待に至らないための予防的支援の充実が必要となるため、更なる人員増を要望する。

### 3 地域療育センターにおける発達障害児支援について

(1) 就学前の発達障害児の増加に対する地域療育センターの取組について伺いたい。

(2) 横浜市立大学と地域療育センターが連携した医師育成の取組を市が政策的に支援すべきと考えるが、見解を伺いたい。

(3) 発達障害児の増加に伴う並行通園児の増加の現状と課題について伺いたい。

(4) 保育所や幼稚園への巡回訪問の実績及び課題について伺いたい。

(5) こどもに関わる機関での発達障害についての理解促進への取組について伺いたい。

(要望) 発達障害児への新たなニーズへの対応のための体制整備を推進することを要望する。

## 2 横山 勇太郎 委員（自民党）

### 1 令和3年度子ども青少年局予算案全体について

- (1) 3年度予算案の編成にあたっての所感について伺いたい。
- (2) 3年度予算案における感染症対策の主な内容について伺いたい。

### 2 保育園や認定こども園における新型コロナウイルス対策の推進について

- (1) 昨年9月補正予算の補助事業の申請状況と主な取組内容について伺いたい。
  - (2) 効果的な感染拡大防止対策を行うためのサポートについて伺いたい。
  - (3) 休園した園や保護者に対する支援内容について伺いたい。
  - (4) 保育所等における業務効率化推進事業の期待される効果について伺いたい。
- (意見) これまでのコロナ対策で得た経験や教訓をもとに、タイムリーかつ効果的な支援に取り組み、保育におけるニューノーマルを推進していただきたい。

### 3 待機児童対策について

- (1) 2,155人分の受入枠拡大の進め方について伺いたい。
  - (2) 令和3年4月の保育所等利用の1次申請の状況について伺いたい。
  - (3) 令和3年度予算案における、1歳児の受入枠拡大のための取組について伺いたい。
  - (4) 待機児童対策の推進に向けた基本的な考え方について伺いたい。
- (意見) 人材確保の取組を推進していただきたい。

### 4 幼稚園における人材確保の支援について

- (1) 幼稚園教諭等住居手当補助事業の効果の受け止めについて伺いたい。
  - (2) 幼稚園における人材確保の支援への取組について伺いたい。
- (意見) 事業の周知が重要であるため、周知の時期にも目を向けていただきたい。
- (要望) 未来を担う子どもたちのため、保育人材の確保により一層取り組むことを要望する。

5 一時預かり事業における予約システムの導入について

予約システムの内容の決め方について伺いたい。

(意見) システム導入により一時預かりの利用が増え、保護者の負担軽減につながることを期待する。

6 保育・幼児教育センター（仮称）について

(1) 「保育・幼児教育センター（仮称）」の機能と、教育センターに併設することのメリットについて伺いたい。

(2) 「保育・幼児教育センター（仮称）」の検討内容について伺いたい。

(要望) 適切な機能等を備えた「保育・幼児教育センター」の設置検討を教育委員会事務局とも協力して推進することを要望する。

7 放課後児童健全育成事業について

(1) 保護者負担減免の対象を拡充したねらいについて伺いたい。

(2) 放課後キッズクラブの新区分の概要と期待される効果について伺いたい。

(3) 今後の事業の見直し内容について伺いたい。

8 特定不妊治療に関する支援について

(1) 特定不妊治療費助成の拡充策の周知方法について伺いたい。

(2) 特定不妊治療費助成の拡充による件数の増加見込みについて伺いたい。

(3) 指定医療機関による治療内容の質の確保に向けた取組について伺いたい。

(4) 不育症に対する支援の考え方について伺いたい。

(5) 不育症検査費に対する助成内容について伺いたい。

(6) 不妊・不育症への支援は重要な取組と考えるが、見解を伺いたい。

9 妊娠期から出産後における多胎児家庭への支援について

(1) 多胎妊婦に対する新たな支援について伺いたい。

(2) 産後母子ケア事業における多胎児家庭への支援の内容について伺いたい。

(3) 妊娠期から出産後の多胎児家庭への支援が重要と考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 多胎の妊産婦やご家庭を孤立させず、健やかに安心して子育てができるような支援の充実を期待している。

#### 10 居所不明児について

- (1) 調査の実施方法について伺いたい。
- (2) 状況確認が児童虐待を防ぐ上で重要と考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 無戸籍の子どもを把握した場合の支援について伺いたい。

### 3 鈴木太郎 委員（自民党）

#### 1 障害児相談支援の推進について

- (1) 障害児通所支援を利用している児童のうち、障害児相談支援を利用している数について伺いたい。
  - (2) 「障害児相談支援事業所への支援の充実」の具体的な取組内容について伺いたい。
  - (3) 重度の障害の児童が、障害児相談を利用できるよう、より工夫した取組が必要と考えるが、見解を伺いたい。
  - (4) 障害児相談の重要性を踏まえ、充実に向けて取組を加速していくべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (意見) 医療的ケア児コーディネーターの拡充に先んじて、障害児相談支援の利用が捗るような取組を心掛けていただきたい。

#### 2 障害児等の保育・教育について

- (1) 障害児等の加算の適切な活用にあたっての運用上の課題について伺いたい。
  - (2) 課題を踏まえた障害児等の保育・教育の今後の取組について伺いたい。
- (意見) 適切な制度運用を心掛けていただきたい。

#### 3 ひとり親家庭自立支援事業におけるEBPMについて

- (1) ひとり親家庭自立支援事業においてEBPMに関する検証を行う理由について伺いたい。
  - (2) EBPMやPFS導入に関する今後の検証の進め方について伺いたい。
- (意見) 本事業が本市の先駆的な取組として結果を出し、他の事業へよい波及効果を生むことを期待している。

#### 4 長谷川 えつこ 委員（立民フ）

##### 1 感染症流行下での妊娠期からの切れ目のない支援について

- (1) 育児等支援サービスの目的及び概要について伺いたい。
  - (2) 育児等支援サービスの利用者の反応 について伺いたい。
  - (3) オンライン両親教室の実績及び効果について伺いたい。
- (要望) 新型コロナウイルス感染症流行下でも、子育て家庭が孤立することのないよう、切れ目のない支援の充実を要望する。

##### 2 子育て支援の充実について

- (1) 令和元年度及び令和2年度の4月から12月の地域子育て支援拠点の利用実績について伺いたい。
  - (2) 新たな生活様式に対応する今後の事業展開について伺いたい。
  - (3) 乳幼児一時預かり事業の運営費に係る令和3年度予算の拡充内容及びその狙いについて伺いたい。
- (意見) 今後も本市での子育て支援が充実することを期待している。

##### 3 発育・発達に心配のある乳幼児に対する支援について

- (1) 育てにくさや発達の心配があるお子さんに対する支援について伺いたい。
  - (2) 障害児等の受入れにあたっての園における体制整備への支援について伺いたい。
  - (3) 障害児等を受け入れるための保育の質や人材育成について伺いたい。
- (意見) 子育て中の不安な時に、気軽に相談ができ、保護者の不安に寄り添った、きめ細やかな支援が充実されることを期待する。
- (要望) 障害のある児童や、特別な支援を必要とする児童が各園で「生きる力」の基礎を培い、保護者が安心して園に預けることができるよう、行政として支援に取り組むことを要望する。



#### 4 子どもの貧困対策について

(1) ひとり親養育費確保支援モデル事業のねらいについて伺いたい。

(2) 支援が必要な方を早期に発見し、支援していくことがこれまで以上に必要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 子どもたちの置かれている様々な状況や声を受け止め、課題を認識した上で、今後もきめ細かな支援を拡充させることを要望する。

#### 5 ファミリーホーム事業の推進について

(1) ファミリーホームの設置目標について伺いたい。

(2) 事業の推進に向けた今後の支援策について伺いたい。

(意見) 一人でも多くの子どもが家庭的な環境で生活ができるよう、積極的に事業を推進していただくことを期待している。

#### 6 児童虐待・DV対策における保護者支援・加害者更生支援について

(1) 児童相談所が虐待通告を受けた場合の一時保護の判断基準について伺いたい。

(2) 一時保護所から家庭引き取り後、関係機関と連携した子どもと保護者への支援方法について伺いたい。

(3) 児童虐待の加害者である親のケア方法について伺いたい。

(4) DV対応における加害者からの相談体制について伺いたい。

(5) 児童虐待・DV対策における保護者支援・加害者更生支援に向けた今後の方向性について伺いたい。

(意見) 地域におけるネットワークが充実し、関係機関での連携がより強化され、本市の虐待をなくしていく取組に期待している。

#### 7 青少年のひきこもりについて

(1) ひきこもりの相談場所の周知方法について伺いたい。

(2) 相談件数の増加や早期対応への対策について伺いたい。

(要望) 横浜の未来を担う青少年の自立支援に、今後一層力を入れて進めることを要望する。

## 8 ヤングケアラーについて

(1) ヤングケアラーへの課題認識について伺いたい。

(2) ヤングケアラーである可能性を早期に発見することが重要と考えるが、見解を伺いたい。

(意見) 地域社会全体で子どもたちを支える環境づくりに取り組んでいただくことを期待している。

1 こども家庭総合支援拠点について

- (1) 4年度までの全市町村設置が目標とされた経緯について伺いたい。
- (2) 「こども家庭総合支援拠点」整備の理念について伺いたい。
- (3) 本市が整備する「こども家庭総合支援拠点」の特徴について伺いたい。
- (4) 区こども家庭支援課の「子育て世代包括支援センター」としての機能について伺いたい。
- (5) 「こども家庭総合支援拠点」と「子育て世代包括支援センター」の関係について伺いたい。
- (6) 「こども家庭総合支援拠点」の専門職の確保及び育成について伺いたい。
- (7) 「こども家庭総合支援拠点」における相談を受けるための体制について伺いたい。
- (8) 支援の必要な子どもたちが、区役所の相談につながるための取組が重要と考えるが、見解を伺いたい。
- (9) 真にこどもの命と権利を守る横浜市であることへの決意について伺いたい。

2 かながわ子ども家庭110番相談LINEの状況について

- (1) 相談者の属性及び相談内容について伺いたい。
- (2) 子ども本人が虐待を受けていることに気づき、LINE相談につながるための取組が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (3) こども家庭総合支援拠点とLINE相談の効果的な運用についての決意について伺いたい。

3 「保育・幼児教育センター（仮称）」の検討について

- (1) 今後のセンター設置のスケジュールについて伺いたい。
- (2) センター設置による関係団体等との連携した取組の充実について伺いたい。
- (3) センターがより効果的に機能するためには、様々な役割や機能が集約されるべきと考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 今後も幼稚園や保育団体などとも連携を深めて、センターの役割や機能とともに検討することを要望する。

#### 4 障害児通所支援事業の取組について

(1) 障害児通所支援事業における記録の継続性について伺いたい。

(2) 障害児通所支援事業所におけるICT化の推進について伺いたい。

#### 5 施設等退所後児童への支援について

(1) コロナ禍により困難に直面し、支援機関につながった事例について伺いたい。

(2) 退所後支援への当事者の参画の必要性について伺いたい。

(要望) 当事者が退所後支援に参画できる仕組みづくりを本市において前向きに検討することを要望する。

1 ひとり親世帯へのサポートについて

- (1) 令和3年度のひとり親世帯支援におけるコロナ対策及びその他の支援の取組について伺いたい。
- (2) 本市独自の支援に取り組むことによる効果について伺いたい。
- (要望) 今後も地域の実情を踏まえた横浜らしい独自のひとり親世帯支援の取組を着実に進めることを要望する。

2 児童相談所の弁護士採用の効果について

- (1) 児童相談所の常勤弁護士に求める経験及び配置の効果について伺いたい。
- (2) 各児童相談所に常勤弁護士の配置が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 全市を挙げて子どもたちの命を虐待から守る決意について伺いたい。
- (要望) 区役所や小児医療機関、保育園など、こどもに関わる全ての機関や地域社会とも連携しつつ、必要に応じた常勤弁護士職の拡充を要望する。

3 結婚、妊娠・出産、子育ての希望が叶う社会に向けた取組について

- (1) 若い時期から、妊娠・出産や子育てを身近に感じてもらうための取組の充実について伺いたい。
- (2) AIを活用した結婚支援に取り組むべきと考えるが、見解を伺いたい。
- (3) 特定不妊治療費助成の助成回数の上限見直しによる効果について伺いたい。
- (4) 男性の不妊治療や相談を受けやすくする環境づくりについて伺いたい。
- (5) 不妊治療で妊娠した方に対する出産後の支援が必要と考えるが、見解を伺いたい。
- (6) 育児休業延長希望者の保育所等の利用申請状況とそれに対する本市の考えについて伺いたい。
- (7) 結婚、妊娠・出産、子育ての希望が叶う社会の実現に向けた決意について伺いたい。

(要望) 中学生が保育園等で乳幼児と交流できるようなプログラムに取り組めるよう、学校側に、こども青少年局や保育園等からアプローチすることを要望する。

1 障害児相談支援事業所への支援の充実について

(1) 障害児計画相談支援事業の現状について

ア 障害児計画相談支援事業の目的及び概要について伺いたい。

イ 障害児相談支援を実施する市内の事業所数について伺いたい。

ウ 障害児通所支援の平成30年度・令和元年度の受給者数及び障害児相談利用計画作成済の障害児の割合について伺いたい。

エ 学齢期児童についての相談利用計画作成済割合について伺いたい。

オ 相談利用計画作成済割合が低い理由について伺いたい。

(2) 新たな障害児相談支援事業所への支援事業について

ア 新たな障害児相談支援事業の目的及び概要について伺いたい。

イ 加算制度は有効に活用されるのか。運用にあたっては工夫が必要と考えるが、見解を伺いたい。

(要望) 今後も当事者や事業所の意見を踏まえ、障害児相談支援事業の安定的な供給と拡充に向けて取り組むことを要望する。

2 多様な保育ニーズへの対応について

(1) 乳幼児一時預かり事業の拡充に向けた取組について伺いたい。

ア 2019年度における乳幼児一時預かり及び一時保育の実施状況について伺いたい。

イ 一時預かり事業の拡充に向けた制度見直しの内容について伺いたい。

ウ 乳幼児一時預かり事業の今後の展開について伺いたい。

(2) 予約システムの導入に向けた検討状況について

ア システム導入の目的及び概要について伺いたい。

イ 事業費見込みについて伺いたい。

ウ これまでの検討状況について伺いたい。

エ 事業者への情報提供方法について伺いたい。

オ スケジュールが早急な理由について伺いたい。

カ システムが複雑化することについて伺いたい。

(意見) 利便性向上のために効果的なのは、定員枠や事業所数を増やすことであるため、システム導入ありきにならないよう、しっかりとシミュレーションしていただきたい。また、予約システム導入の必要性について、今一度検討していただきたい。

### 3 DV被害者への支援体制について

(1) 相談状況(件数)について伺いたい。

(2) 民間団体への相談件数も含むのか。

(3) 民間団体への相談件数は把握しているか。

(4) 民間団体の取組についての把握の状況について伺いたい。

(5) 退所後支援の今後の取組について伺いたい。

(意見) 民間団体は先駆性、柔軟性、地域性、専門性を発揮し、地域社会においても不可欠な資源として重要な役割を果たしていると考えている。パイロット事業を活用し潜在的なセーフティネットとなっている活動を掘り起こせるような取組を期待している。